

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 068	提案機関名 全農神奈川県本部 農産部
要望問題名 新たな露地野菜作物の研究について(継続)	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 神奈川県的主要露地作物である大根、キャベツは市場及び消費者から高い評価を得ているものの、価格が低迷し需要が減退している状況である。特に大根に代わる神奈川の気候及び立地にあった推奨露地作物の研究を継続実施していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所 研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 作型解析やマーケティング調査に基づく新たな三浦半島特産品の開発・導入		
対応の内容等	従来のアブラナ科ーウリ科の輪作体系とは別の、温暖な気候を生かした特産品の栽培技術の確立を目的として、平成12年度から、秋作および冬作について、有効な野菜品目の選定試験が課題化されています。特に各種カリフラワー、ニンニク、葉ニンニク、タマネギ、カラシナの変種‘海野’等露地野菜について試験を実施しておるところです。今後とも秋冬作で三浦半島に適した作物の検討を行って参ります。また、今後はこれまでの試験に加えて、マーケティング手法等を取り入れた新作物の検索を計画しています。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			